

第 156 期
中間株主通信

平成29年4月1日 》

平成29年9月30日

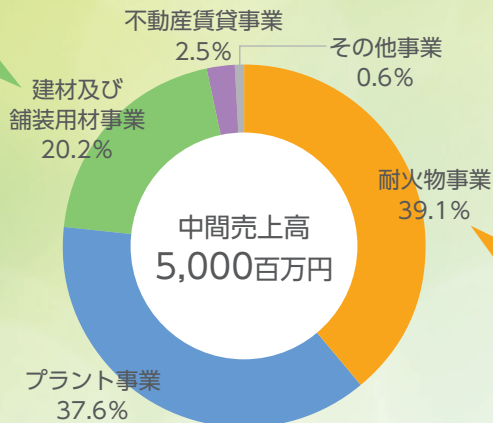


美濃窯業グループの使命

セラミックスを源流に、独自・多様な技術を磨き、産業の高度化・効率化に寄与する
製品、技術、サービスを提供し、社会の発展に貢献する。
規模は大きくないが、一味違う強い特徴を持ち、質の高い企業グループを目指す。

事業紹介

道路用材及び加工製品の
製造・販売・施工



耐火煉瓦、不定形耐火物、
ニューセラミックスの製造・販売



工業炉・自動化設備など、
総合プラントの設計・施工



ごあいさつ

株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、当社グループ第156期第2四半期連結累計期間（平成29年4月1日から平成29年9月30日まで）が終了いたしましたので、ここに事業の概況並びに第2四半期決算の内容につきまして、ご報告申し上げます。

代表取締役社長

太田滋俊



事業概況

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東アジアにおける北朝鮮問題の緊迫化などの懸念材料を抱えるものの、国内では、堅調な雇用所得環境の回復を背景に、個人消費は緩やかに回復しております。また、世界経済の回復を背景に、企業業績は過去最高水準を更新し設備投資や住宅投資は堅調に推移しております。

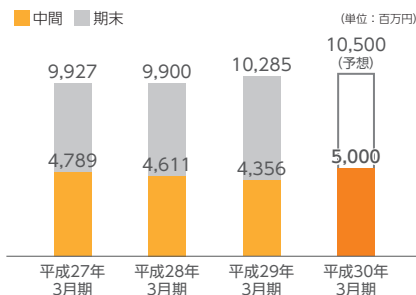
こうした状況のもと、セメント業界向け耐火物を中心とする耐火物事業は、セメントの国内需要が五輪施設工事や大型再開発工事等の需要に支えられ、今年度はプラス基調で推移しており、売上高は前年同四半期から微増となりました。一方、利益面では生産性向上等のコスト削減に取り組んだものの、中国における環境規制強化に端を発した原料価格急騰の影響もあり、前年同四半期を下回る結果となりました。

プラント事業については、国内では生産性向上や省力化のための積極的な設備投資が見られる中で、半導体関連向け設備が好調となり、採算性の向上やコスト削減にも取り組んだ結果、売上高・利益面共に前年同四半期を上回る結果となりました。

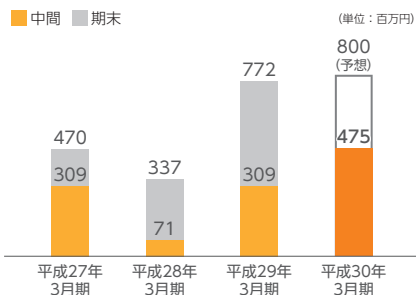
建材及び舗装用材事業については、一部の工事が前年度から今期にずれ込んだ影響で、売上高・利益面共に前年同四半期を上回る結果となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における連結業績は、売上高5,000百万円（前年同四半期比14.8%増）、営業利益449百万円（前年同四半期比61.1%増）、経常利益475百万円（前年同四半期比53.4%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益299百万円（前年同四半期比49.1%増）となりました。

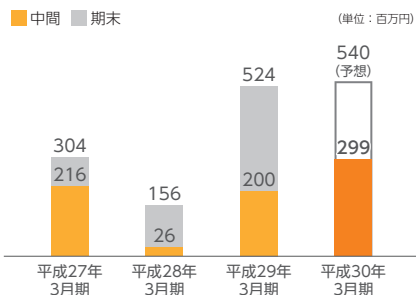
売上高



経常利益



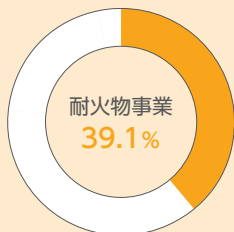
親会社株主に帰属する四半期（当期）純利益



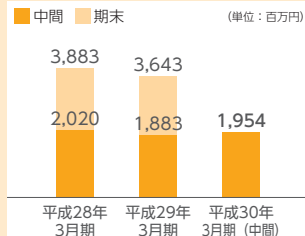


セグメント別の概況

構成比



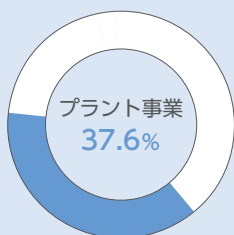
売上高



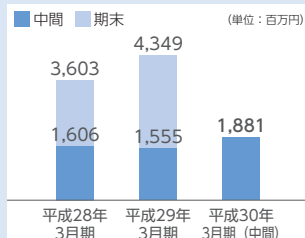
原料価格の高騰による利益減少

耐火物事業につきましては、当第2四半期連結累計期間の売上高は1,954百万円（前年同四半期比3.8%増）、セグメント利益は75百万円（前年同四半期比51.8%減）となりました。

構成比



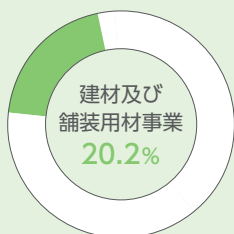
売上高



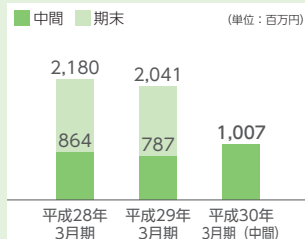
半導体関連向け設備が好調

プラント事業につきましては、当第2四半期連結累計期間の売上高は1,881百万円（前年同四半期比21.0%増）、セグメント利益は239百万円（前年同四半期比59.1%増）となりました。

構成比



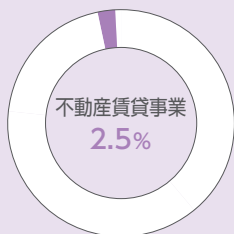
売上高



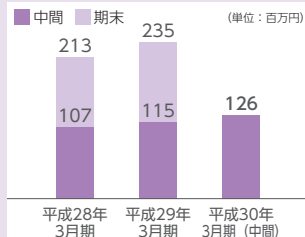
一部工事の期ずれによる売上増加

建材及び舗装用材事業につきましては、当第2四半期連結累計期間の売上高は1,007百万円（前年同四半期比28.0%増）、セグメント利益は54百万円（前年同四半期は1百万円のセグメント損失）となりました。

構成比



売上高



遊休不動産の積極活用

不動産賃貸事業につきましては、当第2四半期連結累計期間の売上高は126百万円（前年同四半期比9.3%増）、セグメント利益は73百万円（前年同四半期比7.4%増）となりました。

※その他事業として売上高は28百万円（前年同四半期比111.5%増）、セグメント利益は3百万円（前年同四半期比4.2%減）となりました。



花王株式会社から「高機能セラミックスの製造及び販売」事業を譲受

当社は、平成29年9月29日付けにて、花王株式会社より「高機能セラミックスの製造及び販売」事業を譲り受けました。上記事業は、昨今、ユーザーから好評をいただいておりますエレクトロニクス分野やニューセラミックス分野で、当社がより積極的に事業展開していくために重要な事業であり、当社の成長に必要な不可欠であると認識しております。

当社は、ニューセラミックス事業の生産体制・販売体制のさらなる充実・強化が必要と考え、かねてより当社と取引があり、多くの実績と信頼を持つ花王株式会社より「高機能セラミックスの製造及び販売」事業を譲り受けました。

上記事業譲受により、一般消費者向け工業製品への幅広い活用が期待できると共に、花王株式会社が保有する顧客・取引基盤および特許権等の無形資産を活用することができるようになり、既存事業とのシナジー効果による売上拡大および生産効率の向上が期待できるものであります。



製品の一例

「TRANS ARTS TOKYO 2017」UP TOKYOへの協力

当社は、都市の様々な空間を活用したアートプロジェクト「TRANS ARTS TOKYO 2017」UP TOKYOに昨年に引き続き協力しています。

「UP TOKYO」とは、皇居の北東、谷根千から大手町・丸の内・有楽町まで半径2kmほどのエリアを言い、千代田区神田錦に東京営業所を構える当社は、歴史と伝統を大事にしつつ、独自の文化を生み出しつつある神田の街に貢献していきます。

東京神田の街が様々なイベントで賑わう秋、今年も様々な人と人が混ざり合い、新しい東京のクリエイティビティと魅力を引き出す「TRANS ARTS TOKYO」をご体感いただきました。

- 会場：五十通り、一八通り、小川広場、ワテラス他、周辺の店舗
- 開催期間：10月13日（金）～10月29日（日）
- 掲載場所：セラミックビル1F壁面（神田錦町3丁目）
- イベント内容：街の中や、店舗内に作品を展示し、街を巡り、知ってもらうこと。そして街の人たちと、そこに活動の拠点を作っていくクリエイターが新たな地域の魅力を創出します。今年も多数の作家と店舗が参加。
- アーティスト：Hogalee
- アーティスト詳細：現代女性をモチーフにマンガ表現でアートワークを制作する作家



今年の展示作品



第2四半期連結貸借対照表 (要旨) (単位: 百万円)

科目	前期末 平成29年3月31日現在	当第2四半期末 平成29年9月30日現在
資産の部		
流動資産	9,159	9,218
固定資産	5,087	5,501
有形固定資産	3,463	3,642
無形固定資産	70	241
投資その他の資産	1,553	1,617
① 資産合計	14,247	14,720
負債の部		
流動負債	4,498	4,660
固定負債	1,866	1,811
② 負債合計	6,364	6,472
純資産の部		
株主資本	6,857	7,118
その他の包括利益累計額	308	392
非支配株主持分	715	737
純資産合計	7,882	8,247
負債純資産合計	14,247	14,720

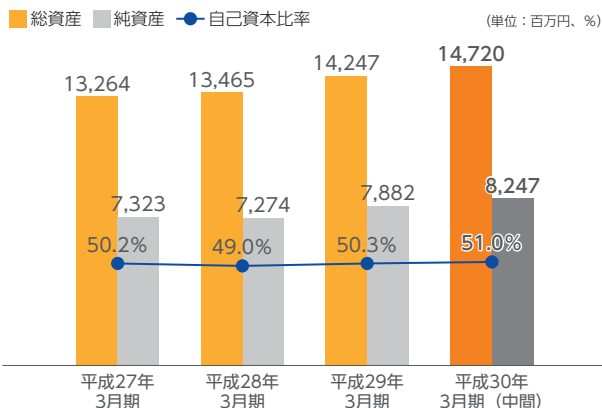
第2四半期連結損益計算書 (要旨) (単位: 百万円)

科目	前第2四半期連結累計期間 平成28年4月1日から 平成28年9月30日まで	当第2四半期連結累計期間 平成29年4月1日から 平成29年9月30日まで
売上高	4,356	5,000
売上原価	3,280	3,644
売上総利益	1,075	1,355
販売費及び一般管理費	796	906
営業利益	279	449
経常利益	309	475
非支配株主に帰属する四半期純利益	9	19
親会社株主に帰属する四半期純利益	200	299

第2四半期連結キャッシュ・フロー計算書 (要旨) (単位: 百万円)

科目	前第2四半期連結累計期間 平成28年4月1日から 平成28年9月30日まで	当第2四半期連結累計期間 平成29年4月1日から 平成29年9月30日まで
③ 営業活動によるキャッシュ・フロー	541	440
投資活動によるキャッシュ・フロー	△136	△304
財務活動によるキャッシュ・フロー	24	15
現金及び現金同等物の増減額	429	151
現金及び現金同等物の期首残高	2,085	2,324
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,514	2,475

総資産／純資産／自己資本比率



ワンポイント説明

① 資産合計

流動資産は、受取手形及び売掛金や有価証券が減少したものの、現金及び預金やたな卸資産の増加などにより、全体としては9,218百万円（前連結会計年度末比59百万円増）となりました。固定資産は、のれんや投資有価証券の増加などにより、全体としては5,501百万円（前連結会計年度末比413百万円増）となりました。その結果、資産合計では、14,720百万円（前連結会計年度末比473百万円増）となりました。

② 負債合計

流動負債は、未払法人税等が減少したものの、支払手形及び買掛金や電子記録債務、短期借入金増加などにより、全体としては4,660百万円（前連結会計年度末比161百万円増）となりました。固定負債は、社債や退職給付に係る負債の減少などにより、全体としては1,811百万円（前連結会計年度末比54百万円減）となりました。その結果、負債合計では、6,472百万円（前連結会計年度末比107百万円増）となりました。

③ 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動の結果得られた資金は440百万円（前年同四半期比18.8%減）となりました。収入の主な内訳は、売上債権の減少額665百万円、仕入債務の増加額148百万円及び税金等調整前四半期純利益485百万円であり、支出の主な内訳は、たな卸資産の増加額725百万円です。



会社概要

会社名	美濃窯業株式会社 MINO CERAMIC CO.,LTD.
設立	大正7 (1918) 年8月14日
資本金	8億7,700万円
従業員数	連結319名 (単体255名)
事業内容	耐火物および耐火材料の製造販売 工業窯炉および付帯品の設計 製作・施工・販売 熱処理・自動化プラントの設計・建設 建築材料および舗装用材の製造・施工・販売 工業用セラミックス製品の製造販売
本社	本社：岐阜県瑞浪市寺河戸町719番地 本社事務所：愛知県名古屋市中区名駅南 1丁目17番28号
グループ会社	美州興産株式会社 株式会社ビョーブライト ミノセラミックス商事株式会社 日本セラミックエンジニアリング株式会社

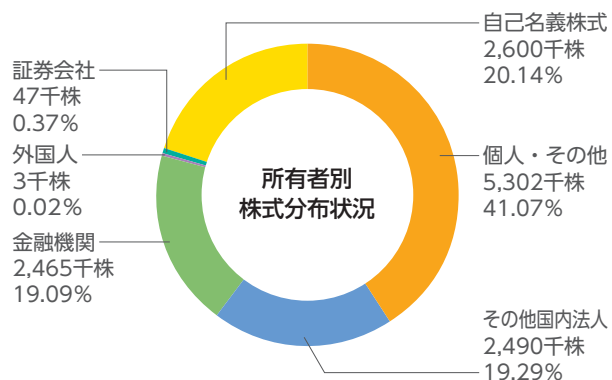
役員

代表取締役社長	太田 滋 俊
取締役 専務執行役員	中島 正 也
取締役 執行役員	山田 俊 彦
取締役 執行役員	長谷川 郁 夫
取締役 執行役員	熊澤 猛
取締役 執行役員	石川 豊
取締役 監査等委員	小塚 永生
社外取締役 監査等委員	高野 正和
社外取締役 監査等委員	春日井 孝

株式の状況

発行可能株式総数	31,960,000株
発行済株式の総数	12,909,828株 (自己株式2,600,346株を含む)
単元株式数	1,000株
株主数	728名

株式分布状況



株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月（議決権の基準日 毎年3月31日）
剰余金の配当の基準日	期末配当 毎年3月31日 中間配当 毎年9月30日

株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社

同事務取扱場所 〒460-8685
名古屋市中区栄三丁目15番33号
三井住友信託銀行株式会社
証券代行部

郵便物送付先 〒168-0063
東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社
証券代行部

（電話照会先） 0120-782-031（フリーダイヤル）
取次事務は三井住友信託銀行株式会社の
本店および全国各支店で行っております。

住所変更、単元未満株式の買取等のお申出先について

株主様の口座のある証券会社にお申出ください。
なお、証券会社等に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

未払配当金の支払について

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

公告の方法 電子公告（当社ホームページに掲載）

ホームページアドレス
<http://www.mino-ceramic.co.jp/>

※ただし、電子公告を行うことができない事故その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載して行います。

美濃窯業株式会社

（お問い合わせ先）

愛知県名古屋市中村区名駅南1丁目17番28号
052-551-9221

ホームページのご案内

ホームページに会社情報や事業紹介、IR情報、および最新情報を掲載しております。ぜひご覧ください。

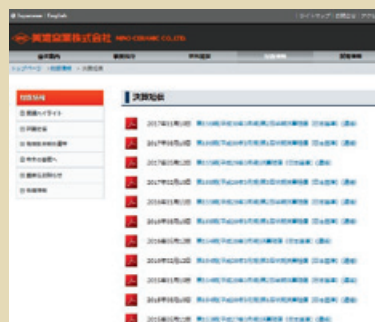
<http://www.mino-ceramic.co.jp/>

美濃窯業

検索



▲ トップページ



▲ 財務情報（決算短信）

UD FONT

見やすいユニバーサルデザイン
フォントを採用しています。

